

## 出版助成図書一覧

(1991年度～2000年度)

| 助成年度   |    | 著者    | 著書                                    | 刊行日      | 出版社      |
|--------|----|-------|---------------------------------------|----------|----------|
| 1991年度 | 1  | 小檜山ルイ | アメリカ婦人宣教師—来日の背景とその影響                  | 1992年6月  | 東京大学出版会  |
|        | 2  | 加藤洋子  | アメリカの世界戦略とココム1945—1992—転機に立つ日本の貿易政策—  | 1992年7月  | 有信堂高文社   |
| 1992年度 | 3  | 中野勝郎  | アメリカ連邦体制の確立—ハミルトンと共和制                 | 1993年5月  | 東京大学出版会  |
|        | 4  | 佐々木卓也 | 封じ込めの形成と変容—ケナン、アチソン、ニッヅェとトルーマン政権の冷戦戦略 | 1993年5月  | 三嶺書房     |
| 1993年度 | 5  | 竹沢泰子  | 日系アメリカ人のエスニシティ—強制収容と補償運動による変遷         | 1994年6月  | 東京大学出版会  |
| 1994年度 | 6  | 森本あんり | ジョナサン・エドワーズ研究—アメリカ・ピューリタニズムの存在論と救済論   | 1995年7月  | 創文社      |
|        | 7  | 宇佐美滋  | 米中国交樹立交渉の研究                           | 1996年1月  | 国際書院     |
| 1995年度 | 8  | 中野 聡  | フィリピン独立問題史—独立法問題をめぐる米比関係史の研究1929—46年  | 1997年1月  | 龍溪書舎     |
| 1996年度 | 9  | 樋口映美  | アメリカ黒人と北部産業—戦間期における人種意識の形成            | 1997年6月  | 彩流社      |
| 1997年度 | 10 | 上岡伸雄  | ヴァーチャル・フィクション—マルチメディア時代のアメリカ文学        | 1998年5月  | 国書刊行会    |
| 1998年度 | 11 | 馬 暁華  | 幻の新秩序とアジア太平洋—第二次世界大戦期の米中同盟の軋轢         | 2000年3月  | 彩流社      |
|        | 12 | 村田晃嗣  | 大統領の挫折—カーター政権の在韓米軍撤退政策                | 1998年12月 | 有斐閣      |
| 1999年度 | 13 | 黒沢眞里子 | アメリカ田園墓地の研究—生と死の景観論                   | 2000年11月 | 玉川大学出版部  |
|        | 14 | 和田光弘  | 紫煙と帝国—アメリカ南部タバコ植民地の社会と経済              | 2000年6月  | 名古屋大学出版会 |
| 2000年度 | 15 | 泉 淳   | アイゼンハワー政権の中東政策                        | 2001年6月  | 国際書院     |
|        | 16 | 袁 克勤  | アメリカと日華講和—米・日・台関係の構図                  | 2001年3月  | 柏書房      |

(2001年度～2006年度)

| 助成年度   |    | 著者    | 著書   | 刊行日     | 出版社       |
|--------|----|-------|--|---------|-----------|
| 2001年度 | 17 | 加藤一誠  | アメリカにおける道路整備と地域開発－アパラチアの事例から                   | 2002年5月 | 古今書院      |
|        | 18 | 小野直樹  | 戦後日米関係の国際政治経済分析                                | 2002年4月 | 慶應義塾大学出版会 |
|        | 19 | 谷川建司  | アメリカ映画と占領政策                                    | 2002年6月 | 京都大学学術出版会 |
|        | 20 | 古矢 旬  | アメリカニズム－「普遍国家」のナショナリズム                         | 2002年5月 | 東京大学出版会   |
| 2002年度 | 21 | 待鳥聡史  | 財政再建と民主主義－アメリカ連邦議会の予算編成改革分析                    | 2003年3月 | 有斐閣       |
|        | 22 | 篠原初枝  | 戦争の法から平和の法へ－戦間期のアメリカ国際法学者                      | 2003年5月 | 東京大学出版会   |
| 2003年度 | 23 | 佐藤隆之  | キルパトリック教育思想の研究－アメリカにおけるプロジェクト・メソッド論の形成と展開      | 2004年4月 | 風間書房      |
| 2004年度 | 24 | 水野剛也  | 日系アメリカ人強制収容とジャーナリズム－リベラル派雑誌と日本語新聞の第二次世界大戦      | 2005年9月 | 春風社       |
|        | 25 | 岡山 裕  | アメリカ二大政党制の確立－再建期における戦後体制の形成と共和党                | 2005年6月 | 東京大学出版会   |
| 2005年度 | 26 | 天野 拓  | 現代アメリカの医療政策と専門家集団                              | 2006年7月 | 慶應義塾大学出版会 |
|        | 27 | 黒崎 輝  | 核兵器と日米関係－アメリカの核不拡散外交と日本の選択1960-1976(フロンティア現代史) | 2006年3月 | 有志舎       |
| 2006年度 | 28 | 南川文里  | 「日系アメリカ人」の歴史社会学－エスニシティ、人種、ナショナリズム              | 2007年6月 | 彩流社       |
|        | 29 | 杉山直子  | アメリカ・マイリティ女性文学と母性－キングストン、モリスン、シルコウ             | 2007年6月 | 彩流社       |
|        | 30 | 村田勝幸  | ”アメリカ人”の境界とラティーノ・エスニシティ－「非合法移民問題」の社会文化史        | 2007年6月 | 東京大学出版会   |
|        | 31 | 水野由美子 | 「インディアン」と「市民」のはざままで－合衆国南西部における先住社会の再編過程        | 2007年6月 | 名古屋大学出版会  |
|        | 32 | 平体由美  | 連邦制と社会改革－20世紀初頭アメリカ合衆国の児童労働規制                  | 2007年6月 | 世界思想社     |
|        | 33 | 松本悠子  | 造られるアメリカ国民と「他者」－「アメリカ化」時代のシティズンシップ             | 2007年8月 | 東京大学出版会   |

(2007年度～2010年度)

| 助成年度   |    | 著者    | 著書   | 刊行日      | 出版社       |
|--------|----|-------|--|----------|-----------|
| 2007年度 | 34 | 西川 賢  | ニューディール期民主党の変容－政党組織・集票構造・利益誘導              | 2008年8月  | 慶應義塾大学出版会 |
|        | 35 | 石川敬史  | アメリカ連邦政府の思想的基礎－ジョン・アダムズの中央政府論              | 2008年7月  | 溪水社       |
|        | 36 | 工藤安代  | パブリックアート政策－芸術の公共性とアメリカ文化政策の変遷(文化政策のフロンティア) | 2008年6月  | 勁草書房      |
|        | 37 | 西山隆行  | アメリカ型福祉国家と都市政治－ニューヨーク市におけるアーバン・リベラリズムの展開   | 2008年7月  | 東京大学出版会   |
|        | 38 | 野口貴公美 | 行政立法手続の研究－米国行政法からの示唆                       | 2008年6月  | 日本評論社     |
|        | 39 | 倉科一希  | アイゼンハワー政権と西ドイツ－同盟政策としての東西軍備管理交渉            | 2008年6月  | ミネルヴァ書房   |
| 2008年度 | 40 | 木下 昭  | エスニック学生組織に見る「祖国」－フィリピン系アメリカ人のナショナリズムと文化    | 2011年4月  | 不二出版      |
|        | 41 | 森 聡   | ヴェトナム戦争と同盟外交－英仏の外交とアメリカの選択1964－1968        | 2009年9月  | 東京大学出版会   |
|        | 42 | 櫛田久代  | 初期アメリカ連邦構造－内陸開発政策と州主権                      | 2009年11月 | 北海道大学出版会  |
|        | 43 | 土屋 由香 | 親米日本の構築－アメリカの対日情報・教育政策と日本占領                | 2009年10月 | 明石書店      |
|        | 44 | 北 美幸  | 半開きの”黄金の扉”－アメリカ・ユダヤ人と高等教育                  | 2009年4月  | 法政大学出版局   |
| 2009年度 | 45 | 多湖 淳  | 武力行使の政治学 単独と多角をめぐる国際政治とアメリカの国内政治           | 2010年2月  | 千倉書房      |
|        | 46 | 菅原和行  | アメリカ都市政治と官僚制－公務員制度改革と政治過程                  | 2010年10月 | 慶應義塾大学出版会 |
|        | 47 | 竹田 有  | アメリカ労働民衆の世界－労働史と都市史の交差するところ                | 2010年9月  | ミネルヴァ書房   |
|        | 48 | 李 東俊  | 未完の平和－米中和解と朝鮮問題の変容 1969－1975年              | 2010年12月 | 法政大学出版局   |
| 2010年度 | 49 | 富澤克美  | アメリカ労使関係の精神史－階級道徳と経営プロフェッショナリズム            | 2011年10月 | 木鐸社       |
|        | 50 | 高田馨里  |  | 2011年7月  | 有志舎       |
|        | 51 | 高梨良夫  | エマソンの思想の形成と展開－朱子の教義との比較的考察                 | 2011年4月  | 金星堂       |
|        | 52 | 安武秀岳  | 自由の帝国と奴隷制－南北戦争前史の研究                        | 2011年5月  | ミネルヴァ書房   |

## (2011年度～2016年度)

| 助成年度   |    | 著者    | 著書   | 刊行日      | 出版社      |
|--------|----|-------|--|----------|----------|
| 2011年度 | 53 | 川名晋史  | 基地の政治学－戦後米国の海外基地拡大政策の起源                            | 2012年5月  | 白桃書房     |
|        | 54 | 平良好利  | 戦後沖縄と米軍基地－「受容」と「拒絶」のはざままで1945－1972年                | 2012年10月 | 法政大学出版局  |
|        | 55 | 千々和泰明 | 大使たちの戦後日米関係－その役割をめぐる比較外交論1952－2008年                | 2012年6月  | ミネルヴァ書房  |
|        | 56 | 新田啓子  | アメリカ文学のカルトグラフィ－批評による認知地図の試み                        | 2012年4月  | 研究社      |
| 2012年度 | 57 | 飯山雅史  | アメリカ福音派の変容と政治－1960年代からの政党再編成                       | 2013年7月  | 名古屋大学出版会 |
|        | 58 | 橋川健竜  | 農村型事業とアメリカ資本主義の胎動－共和国初期の経済ネットワークと都市近郊              | 2013年6月  | 東京大学出版会  |
|        | 59 | 松原宏之  | 虫喰う近代－1910年代社会衛生運動とアメリカの政治文化                       | 2013年9月  | ナカニシヤ出版  |
| 2013年度 | 60 | 岡田泰平  | 「恩恵の倫理」と植民地－アメリカ植民地期フィリピン <small>の</small> 教育とその遺制 | 2014年9月  | 法政大学出版局  |
|        | 61 | 服部 朗  | アメリカ少年法の動態   | 2014年3月  | 成文堂      |
|        | 62 | 佐藤千登勢 | アメリカの福祉改革とジェンダー－「福祉から就労へ」は成功したのか？                  | 2014年6月  | 彩流社      |
| 2014年度 | 63 | 早川佐知子 | アメリカの看護師と派遣労働－その歴史と特殊性                             | 2015年7月  | 溪水社      |
|        | 64 | 梅川 健  | 大統領が変えるアメリカの三権分立制－署名時声明をめぐる議会との攻防                  | 2015年8月  | 東京大学出版会  |
|        | 65 | 野口久美子 | カリフォルニア先住民の歴史－「見えざる民」から「連邦承認部族」へ                   | 2015年8月  | 彩流社      |
|        | 66 | 武田 悠  | 「経済大国」日本の対米協調－安保・経済・原子力をめぐる試行錯誤、1975～1981年         | 2015年6月  | ミネルヴァ書房  |
| 2015年度 | 67 | 平芳幸浩  | マルセル・デュシャンとアメリカ－戦後アメリカ美術の進展とデュシャン変容の変遷             | 2016年7月  | ナカニシヤ出版  |
|        | 68 | 安井倫子  | 語られなかったアメリカ市民権運動－アファーマティブ・アクションという切り札              | 2016年6月  | 大阪大学出版会  |
|        | 69 | 岩崎佳孝  |  | 2016年6月  | ナカニシヤ出版  |
|        | 70 | 新垣 拓  | ジョンソン政権における核不拡散政策の変容と進展                            | 2016年5月  | ミネルヴァ書房  |
| 2016年度 | 71 | 齊藤孝祐  | 軍備の政治学－制約のダイナミクスと米国の政策選択                           | 2017年6月  | 白桃書房     |
|        | 72 | 宮田智之  | アメリカ政治とシンクタンク－政治運動としての政策研究機関                       | 2017年5月  | 東京大学出版会  |
|        | 73 | 笠井俊和  | 船乗りがつかぐ大西洋世界－英領植民地ホストンの船員と貿易の社会史                   | 2017年5月  | 晃洋書房     |
|        | 74 | 杉野綾子  | 米国大統領の権限強化と新たな政策手段                                 | 2017年5月  | 日本評論社    |
|        | 75 | 山本章子  | 米国と日米安保条約改定－沖縄・基地・同盟                               | 2017年5月  | 吉田書店     |

(2017年度～2020年度)

| 助成年度   |    | 著者    | 著書                                  | 刊行日     | 出版社      |
|--------|----|-------|-------------------------------------|---------|----------|
| 2017年度 | 76 | 梅川 葉菜 | アメリカ大統領と政策革新－連邦制と三権分立制の間で           | 2018年5月 | 東京大学出版会  |
|        | 77 | 峯 真依子 | 奴隷の文学誌－声と文字の相克をたどる                  | 2018年4月 | 青弓社      |
|        | 78 | 戸田山 祐 | ブラセロ・プログラムをめぐる米墨関係－北アメリカのゲストワーカー政策史 | 2018年8月 | 彩流社      |
|        | 79 | 金 志映  | 日本文学の戦後と変奏されるアメリカ－占領から文化冷戦の時代へ－     | 2018年9月 | ミネルヴァ書房  |
|        | 80 | 長谷川珠子 | 障害者雇用と合理的配慮－日米の比較法研究                | 2018年8月 | 日本評論社    |
| 2018年度 | 81 | 上 英明  | 外交と移民－冷戦下の米・キューバ関係                  | 2019年5月 | 名古屋大学出版会 |
|        | 82 | 松永 京子 | 北米先住民作家と<核文学>－アポカリプスからサバイバンスへ       | 2019年5月 | 英宝社      |
| 2019年度 | 83 | 志田淳二郎 | 米国の冷戦終結外交－ジョージ・H・Wブッシュ政権とドイツ統一      | 2020年5月 | 有信堂高文社   |
|        | 84 | 宮本裕子  | フライシャー兄弟の映像的志向                      | 2020年6月 | 水声社      |
| 2020年度 | 85 | 荒木 圭子 | マーカス・ガーヴィーと「想像の帝国」国際的人種秩序への挑戦       | 2021年5月 | 千倉書房     |
|        | 86 | 堀 江里香 | ハワイ日系人の歴史的変遷－アメリカから蘇る「英雄」後藤潤        | 2021年6月 | 彩流社      |